

平成21年度 まちづくりパワー支援事業の結果

平成19年度からスタートした「まちづくりパワー支援事業補助金」は地域の活性化に向けて地域住民が「自ら考え、自ら実践する」まちづくり活動を支援する制度で、各自治区の「まちづくり協議会」において審査・採択され、下記の事業が行われた結果です。

	事業名	団体名	事業内容	補助金交付決定額(円)
北見自治区	文化センターまつり	NPO法人オホーツク文化協会	夏休み中に文化センターを中心に親子で化学実験や工作などを通して、文化センターの活用と子どもの健全育成が図られた。今年は参加者が940人を超え過去最高の人出となった。	162,000
	さくらの名所づくり	北見市を考える市民の会	市民の楽しめる桜の名所を作るため、南丘森林公園に桜の木を植樹し、今年で686本となった。今年は桜の木の病害の防除作業も行い、桜の名所づくりを推し進めることができた。	279,000
	相内町街並み賑わい創出	マイタウン「相内」を考える会	商店街の店舗シャッターなど今年は9箇所に映画ポスターや風景、動物などの絵を書き、暗いイメージから脱却し、街並みを明るくすることができただけでなく、活動に参加する地域住民の結束や協働の推進が図られ地域の活性化につながっている。	705,000
	北見雪合戦大会	北見雪合戦大会実行委員会	きたみ冬まつり会場に隣接コートを作り、2日間とも300人以上の参加者や関係者などが集まり、子どもたちも含めた雪合戦大会を行い、大人も巻き込みながらまつりを盛り上げることができた。	389,000
	安心安全な地域づくりと子どもの健全育成事業	緑町ふれあいまちづくりの会	道々西8号線西北見駅から夕陽ヶ丘通沿い歩道の花壇づくりと歩道清掃を実施した。また、小学生、高校生への「学童見守り活動」を行うことで、不審者情報や交通事故は皆無であり、地域の事業所も自発的に参加されるなど、活動の輪が広がった。	96,000
	ひかったよ事業	上ところホテル友の会	人々に懐かしい風情と感動を与えるホテルの優しい癒しの輝きを多くの人に楽しんでいただけるように、「ホテルの里」案内看板や木道の製作やこどもの自然観察会を実施した。鑑賞期間中は約1800人の人々が訪れ楽しむことができた。	279,000
	東相内河川公園桜木移植事業	相内地域まちづくりの会	北見市が造成した東相内河川公園に桜の木を植え美観向上を図ることができた。	113,000
	高栄東町防犯パトロール	高栄東町防犯パトロール「勝手にやる会」	小中学生の登下校時のパトロールや青色灯を点灯し巡回するなど交通安全と防犯活動を通じて安全、安心なまちづくりを進めることにつながった。また独居老人宅の声かけ訪問などにより地域のつながりを深めることができた。	54,000
	北見ハーフマラソン	北見ハーフマラソン実行委員会	環境負荷がかからず健康増進に寄与し、多くの市民の参加が可能なマラソン大会を開催することにより、継続的な「地域環境づくり」「ひとづくり」の場とするため実施した。予定を超える1234名のランナーが参加し、市外からの参加者も多く、北見市のPRと経済効果も生まれた。	594,000
	開成緑環境保全事業	開成環境保全会	元気な高齢者の地域づくりをめざし、手づくりパークゴルフ大会の開催した。癒し道路のカバープランツ、パークゴルフ場の維持管理を行うことで、地域の協働の大切さや緑環境保全の大切さを実感することができ、継続した活動を続けることとなった。	277,000
北見自治区計 10事業				2,948,000
端野自治区	みんなで花火をあげよう事業	みんなで花火をあげよう会	チケット購入者である住民が花火の打上げ経費を負担し花火を上げ、会場には地場産品のPRや試食などのコーナーを設け、今年は1,500人以上の参加がありました。地域住民が創り上げていく地域コミュニティや協働意識が高まり、世代を超えた交流が図られた。	415,000
	豊北発「緑のダイニング事業」	みんなのダイニングとよほく会	「育てて食べよう」事業では、蕎麦の播種から始まり、除草や脱穀など1年を通して食育事業を行った。さらに地場産品を使った料理教室などを実施し、食に対する意識改革や地域施設の利用増進や地域間交流も図られた。	293,000
	子どもの本講演会事業	絵本読み聞かせ「とびらの会」	絵本作家を招き、講演会とワークショップを開催。この事業を通し、子育てにおける読み聞かせの重要性や楽しさの再認識が図られた。親子交流や子育て支援への一助となることにつながった。	244,000
	たんの再発見(@_@)うお〜キングマップ事業	たんの・まNAV!隊	近年、健康管理のために行われているウォーキング。安全・安心なコースを提案し、消費エネルギーや距離数・所要時間を表示し、自己管理の参考として利用されている。地域住民の健康増進の向上を図ることができた。	254,000
	川向メモリアル事業	川向応援団	旧川向小学校体育館が取り壊されることから、廃材になる梁を利用し、形に残る物を作ろうと地域住民によるベンチの製作が行われた。この事業により、川向小学校を後世に残し、川向地域のコミュニティが高まり、世代を超えた交流が図られた。	294,000
端野自治区計 5事業				1,500,000
常呂自治区	空店舗シャッターのペイント事業	ところ街づくり実行委員会	各事業所や常呂高校生の協力もいただき、商店街の空店舗10店のシャッターに、ワッカ原生花園や常呂遺跡、100kmマラソンやオホーツクサイクリングなど常呂を代表する観光資源などを描き、商店街を明るく塗り替えることができた。	927,000
	「ところ・笑顔の輪」づくり事業	「ところ・笑顔の輪」づくり実行委員会	認知症サポーター養成講座や地域医療についてのまちづくりフォーラムの開催などを通して、地域での医療と福祉・健康のネットワークの活用や支えあう地域づくりの重要性を認識することができた。また、夕涼み広場の開催では、地域の住民と高齢者の交流を図ることができた。	315,000
	「ところファミリー劇場」事業	「ところファミリー劇場」実行委員会	劇団「なんじゃもんじゃ」の公演やジャグリングショーなどを開催し、多くの親子に子どもの文化の楽しさや大切さを知っていただく機会をつくることができた。	257,000
常呂自治区計 3事業				1,499,000
留辺蘂自治区	紙芝居・絵本づくり事業	手づくりの会きずな	手づくり紙芝居や手づくり絵本などを作成し、読み聞かせを行うことで、乳幼児や青少年の健やかな成長を助長することができ、高齢者には心の安らぎを与えることができた。	583,000
	芸術文化鑑賞事業	芸術文化に触れる会「みずほの風」	落語家 桂吉弥、桂しん吉、桂佐ん吉の出演による落語鑑賞会を開催し、小学生から高齢者まで落語ワークショップの体験を通して、心のふれあいと絆を深めることができた。	567,000
	「小麦ができるまでの講習会」と「うどん作り」事業	留辺蘂町食育青年部	小学生を対象に小麦ができるまでの過程を勉強し、実際にうどん作り体験を行った。食育活動を通して、地域の子どもたちに農業の素晴らしさと食の大切さを学んでもらうことができた。	205,000
留辺蘂自治区計 3事業				1,355,000
合計				7,302,000